

令和7年度 グループホームはなさか地域連携推進会議会議録

日 時 令和8年1月13日（火） 10時00分～11時30分

会 場 おおぞら新野支所会議室（グループホームはなさか内）

〒779-1510

阿南市新野町是国110-2

出席者	地域代表	山脇様	(新野地区民生委員)
	関連機関	小川様	(阿南市地域共生推進課)
	利用者代表	川越様	(グループホームはなさか入居者)
	保護者代表	福島様	(はなさか利用者の保護者)
	事務局	皆谷浩也	(グループホームはなさか管理者)

議事

事務局より資料に沿って事業所の概要等を説明。（別紙資料参照）

説明後、各出席者から意見をいただいた。

小川様：食事提供してるが、各利用者さんでアレルギーや偏食があると思う。
そのような対応はどのようにしているのか。

皆谷：アレルギーのある方、他食事に制限のある方については、代替食を提供したり、アレルギーの食材を除去したり、それぞれ対応しています。偏食については、一人暮らしを目標においている方などは特に、本人さんとも話したうえで、嫌だったら自分で除くなどの対応をしてもらっています。

山脇様：本会議の趣旨は理解した。地域との連携を図るというのなら、地域包括支援センターからも出席してもらったり、行政・制度のこともあるので、市からだけでなく、県の職員にも参加してもらってはどうか。本当に地域連携の強化を目指すのであれば、実務で働きかけができる方に出席してもらったほうがいい。私も地域の民生委員という立場からは協力を惜しまないつもりである。

皆谷：ありがとうございます。出席者については今後検討します。

山脇様：地域からみると、この施設もそうだし、入居している人についても、どう

いう人がいるのか、どう接したらいいのかというのにとまどいがある。地域との交流を通じてそういうところを解消できればいいのではないか。例えば、地域住民と一緒に利用者さんがしめ縄づくりをするとかどうか。

皆谷：はい。当グループホームでは地域交流の強化が今後の課題だと考えています。ぜひ地域の方といっしょに何等かの活動をするという機会をつくりたいと思います。

山脇様：今会議しているこの会議室を地域の方に開放してもらうといいと思う。地域では高齢者の方など家に閉じこもってしまう方もいることが問題となっている。いこいの場ができればそういう方との社会とのつながりができるのでありがたい。

皆谷：もともとこの場所はそういうことができるようという趣旨で設計された場所であります。地域からのニーズもあるということですので、そのように使っていただけるように準備して、お知らせするようにいたします。

福島様：個人的な要望については、後程直接お伝えさせていただきます。保護者の立場として、本人が不自由なく楽しくすごしてもらえることが望みです。うちの子は、足に障がいがあるので、ベランダで洗濯物を干したり、お風呂の段差などに不自由しています。何かしらの対応をしてもらいたいです。

皆谷：承知いたしました。ご本人からの要望には可能な限りお答えするようにしております。共同生活をする上で他者との関わりで思い通りにはならない部分も出てくることがあります、利用者さんすべての幸福度を考えて支援していきます。段差についてはご不便をおかけしており申し訳ございません。ご本人様ともお話をうえで対応を考えて参ります。

川越様：とくに意見在りません。いまのところ不満もありません。

皆谷：わかりました。いつでも気になることやいやなことがあったときは言ってください。直接言いにくいときは、各フロアの玄関、靴箱の上に意見箱がございます。そちらに入れていただいていても大丈夫です。

以上をもって会議を終了した。

その後、令和8年1月13日午前11時30分から午後0時まで、グループホーム

はなさかの各棟を見学した。